



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 5 日

上場会社名 株式会社 丸 運 上場取引所 東証第一部
 コード番号 9067 URL <http://www.maruwn.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 均
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 清野 政廣 TEL (03) 3433 - 0111
 (役職名) 総務部総務担当部長 (氏名) 柏木 久夫

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	42,529	1.1	1,678	29.8	1,633	29.4	756	19.8
19年3月期第3四半期	42,088	1.4	1,293	16.6	1,262	18.3	631	20.3
19年3月期	56,185	—	1,850	—	1,834	—	956	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	26.16	—
19年3月期第3四半期	21.83	—
19年3月期	33.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	44,482	16,774	37.3	574.76
19年3月期第3四半期	45,673	16,467	35.7	569.76
19年3月期	46,318	16,895	36.1	579.17

2. 配当の状況

当社は、第 3 四半期末を基準日とした配当を実施していないため、記載を省略しております。

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	57,000	1.5	2,000	8.1	1,900	3.6	1,000	4.5	34	60

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の物流業界におきましては、国際貨物輸送が中国を始めアジア向け輸出を中心に増加し、国内貨物輸送でも設備投資関連や生産関連貨物については好調な企業業績を背景として堅調に推移しましたが、個人消費の伸び悩みや建設関連貨物の減少により、国内貨物の総輸送量は引き続き減少しました。さらに、安全・環境・省エネ対策等の規制強化によるコスト負担増や燃油費の高騰など、先行き不透明となっております。

このような事業環境のもと、当社グループは、安定した利益の確保による財務体質の改善と成長分野の強化を図るべく、営業力の強化やコスト競争力の向上などの諸施策の実行に努めました。

その結果、当第3四半期の営業収益は、国際貨物輸送や環境リサイクル関連事業が伸長したことにより、前年同四半期に比べ1.1%の増収となりました。また、損益につきましては、燃油費の高騰や税制改正に伴う減価償却方法変更の影響によるコスト増はありましたが、新規物流拠点（日立市、野洲市）の稼働やグループを上げて推進した業務全般にわたる効率化の効果により、当第3四半期の連結経常利益は前年同四半期に比べ3億71百万円増の16億33百万円となり、連結四半期純利益は同じく1億25百万円増の7億56百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18億36百万円減少し444億82百万円となりました。これは営業未収金の回収や投資有価証券が株安の影響により減少したこと等によるものです。負債につきましては、短期及び長期借入金の返済等により277億7百万円と前連結会計年度末に比べ17億16百万円減少しました。純資産につきましては、当第3四半期純利益7億56百万円の計上はありましたが、その他有価証券評価差額金の減少や、配当などの剰余金処分により167億74百万円と前連結会計年度末に比べ1億20百万円減少しました。自己資本比率は、総資産の減少により同じく1.2ポイント改善し37.3%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、第3四半期までの損益はほぼ順調に推移しましたが、今後の景気動向や燃油価格上昇の影響などの不確実な要素があるため、通期の業績予想の変更は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計上基準、減価償却費の計算、その他影響額が僅少なものにつきましては、一部簡便な手続きによっております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5.（要約）四半期連結財務諸表

(1)（要約）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	前年同四半期 (平成19年3 月期第3四半期 末)	当四半期 (平成20年3 月期第3四半期 末)	増 減	(参考) 平成19年3月 期末
	金 額	金 額	金 額	金 額
(資産の部)				
I 流動資産				
現金及び預金	3,670	3,910	240	4,495
受取手形及び営業未収金	9,230	8,835	△395	9,164
その他	951	1,053	101	813
流動資産合計	13,852	13,799	△53	14,474
II 固定資産				
有形固定資産	26,364	26,136	△228	26,448
無形固定資産	218	242	23	200
投資その他の資産	5,237	4,303	△933	5,195
固定資産合計	31,821	30,682	△1,138	31,844
資産合計	45,673	44,482	△1,191	46,318
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形及び営業未払金	5,225	5,222	△2	5,303
短期借入金	9,704	9,292	△411	10,073
その他	3,369	3,452	81	3,702
流動負債合計	18,299	17,966	△332	19,079
II 固定負債				
長期借入金	4,363	3,237	△1,125	3,839
退職給付引当金	2,804	2,755	△49	2,781
その他	3,739	3,747	8	3,722
固定負債合計	10,907	9,740	△1,166	10,343
負債合計	29,206	27,707	△1,498	29,423
(純資産の部)				
純資産合計	16,467	16,774	307	16,895
負債及び純資産合計	45,673	44,482	△1,191	46,318

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3 月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3 月期 第3四半期)	増 減	(参考) 平成19年3月 期
	金 額	金 額	金 額	金 額
I 営業収益	42,088	42,529	440	56,185
II 営業原価	39,026	39,106	79	52,018
営業総利益	3,061	3,422	360	4,166
III 販売費及び一般管理費	1,768	1,744	△24	2,316
営業利益	1,293	1,678	385	1,850
IV 営業外収益	139	132	△7	202
V 営業外費用	170	177	6	218
経常利益	1,262	1,633	371	1,834
VI 特別利益	62	55	△6	78
VII 特別損失	83	74	△8	104
税金等調整前四半期（当 期）純利益	1,241	1,614	373	1,807
税金費用	594	849	255	825
少数株主利益	15	8	△6	25
四半期（当期）純利益	631	756	125	956